

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE



CAR No.34

2014/9/21

CAR No.35



スーパーFJ 富士シリーズ 第 4 戦



草野貴哉

長谷川綾哉

アルビモーターフリーク GIA

アルビ開志高校ビヨンド EDKK-SED

CAR No.36



CAR No.37



神村悠太

大久保一成

アルビ RT 玉三郎 M's 岩本 10V

アルビメーカーウィナーK-WindsED

9月20日(土) 予選 9月21日(日)決勝

富士スピードウェイ 1 LAP=4.563km 出走：13台

予選結果：神村選手 5位 大久保選手 8位 長谷川選手 11位 草野選手 10位

決勝結果：大久保選手 6位入賞 神村選手 7位 長谷川選手 9位 草野選手 10位

#### ■9月20日(土) 10時10分予選スタート

天候：曇り コース：ドライ 気温：19℃ 湿度：49% 路温：20℃

シリーズチャンピオンを狙う神村選手は2連勝をかけて第4戦に挑む。20分間の予選では、牧野選手が唯一1分51秒台をマークしてポールポジションを獲得。今井選手、鹿島選手と続き、神村選手は7周目にベストラップを出したものの、平選手が全くの同タイムを先にマークしており、規定により平選手より後に同タイムをマークした神村選手は5番手となった。大久保選手は8位、10位に草野選手が入り、長谷川選手は11位で翌日の決勝に備える。

#### ■9月21日(日) 8時49分決勝スタート

天候：晴れ コース：ドライ 気温：19℃ 湿度：48% 路温：24℃

5番手スタートの神村選手だったが、スタート直後の1コーナーコーナリング中に、右後方から攻めてきた車両とわずかに接触、スピンしてしまい、コース真ん中で止まってし

まう。神村選手は最後尾に転落し、シリーズタイトル獲得に向け少しでもポイントを稼ぐべく追い上げを期する。

大久保選手はスタートを決め7番手にポジションを上げてアウトから1コーナーに進入。神村選手と他車の接触に乗じて3台パスして8番手スタートから一気に4位に浮上する。するとレースはトップの牧野選手、2位今井選手、3位平選手、4位大久保選手の4台が抜け出しバトルを展開していく。

大久保選手はオープニングラップ最終コーナーで3位の後ろにつくと、スリップストリームを利用してコントロールライン付近で3位に浮上する。しかし、パスされた平選手も粘りを見せ、サイドバイサイドのまま1コーナー～コカコーラコーナーを抜け100Rへ。すると、100Rでインにポジションを取った平選手にパスされ、大久保選手は再び4位に後退してしまう。そのバトルの間に後続から鹿島選手、赤堀選手の2台が接近。大久保選手はさらに鹿島選手、後続の赤堀選手にもパスされ6位に後退。4周目には7位までポジションを落としてしまう。

その間、神村選手は1台ずつ確実にかわして少しずつ順位を上げていき、ファイナルラップで長谷川選手をパス。最後は鹿島選手がピットインしたために各選手ポジションを1つつ上げ、大久保選手は開幕から4戦連続入賞となる6位、神村選手は入賞まであと一步の7位、長谷川選手は9位、草野選手は10位でチェッカーを受けた。

牧野選手はトップ集団の混戦を抜け出し、最後は11秒差をつけて優勝、今季2勝目を上げた。2位には今井選手、3位に平選手が入った。

#### ○草野選手コメント

4戦を終えましたが、走るたびに課題がでてきているので、改善して良いかたちでシーズンを終わられるようベストを尽くしていきたいです。

#### ○長谷川選手コメント

今回のレースを終えて、ついにシリーズも最終戦だけになりました。満足のいくシーズンが過ごせていないので、最終戦は死力を尽くしたいです。

#### ○神村選手コメント

シリーズチャンピオンを狙ってシーズンを戦ってきましたが、今日の結果はすごく残念です。11月のレースでは実力を出し切り悔いのないレースをしたいです。

### ○大久保選手コメント

レース前半で3位に上がることができましたが、バトルに競り負けてしまいました。最後は表彰台を目指して戦いたいです。

### ○中村監督コメント

今回はシリーズチャンピオンに繋げる大切な一戦となりました。金曜から全体的にもう一つ波に乗れず、37号車にいたっては原因不明のエンジン不調でしたが、土曜日には回復いたしました。

神村選手についてはシリーズチャンピオンがかかっていただけに惜しい内容でしたが、後方から接触してこられ不運だったと思います。最終戦はグランドスラムを目指してほしいです。

大久保選手に関しては、今回はエンジン不調と大変申し訳なかったと思います。後方スタートでも一時は3位に上がる速さを見せてくれました。最終戦につなげてほしいです。

草野選手はまだ勉強中で、自らにブレーキをかけて動きが小さい様子です。伸び伸び元気に走ってほしいです。

長谷川選手については全てにおいて焦りが見られ、ドライバーとしてやるべきことをやれていない状況で、環境を変えていかなければならないと感じました。しかし若いので今後に期待したいと思います。

11月の最終戦も全力で戦いますので応援宜しくお願いいたします。







 Nankai Plus.Co.,LTD.
 
 鈴木会計
 




  

 Moty's
 
 新潟日報
 
 たわら屋
 
 AUTO NIIGATA SYSTEM
 
 SPN SPEED PARK NIIGATA

- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース ・ みがき屋エンマ
- ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ ・ 関根車体